

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2021年 10月 29日 No. 420

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

長野地本第3回ユニオン セミナー開催しました！



10月23日に「長野地本第3回ユニオンセミナー」を長野市の南千歳公民館で開催しました。

6月19日に開催した第2回ユニオンセミナーでは労働法制・諸規則の「経営協議会」や「団体交渉」、「労働三権」、「労働三法」などの「労働組合だからできること、やるべきこと」「組合員を守るための法律」などを学びました。

第3回ユニオンセミナーではより良い職場環境の実現に向けて労働組合の運営や分会活動の意義、執行委員会の重要性、要求の作り方、集会・会議の在り方などを学習しました。



また、「ワークルール検定」を受けた副委員長から労働契約や就業規則、セクハラ、パワハラ、マタハラ、人事異動、労働組合と労働組合法、不当労働行為、団交権の保障など、様々な法律や労働組合の役割について問題を解きながら勉強しました。



JR東日本は28日に純損益が1,600億円の赤字に転落するとの見通しを発表しました。そのため、新幹線の運行本数の抑制や**社員の賞与削減も検討**し、固定費を切り詰めるそうです。

私たちはコロナ過でも以前と変わらず業務をしています。他に削減できるところがあるのではないのですか？現場で苦勞して働いている私たちの人件費削減はおかしくないですか？私たちの生活が成り立っていきますか？

会社におかしい事をおかしいと言える労働組合が必要ではないですか？